

# TIRE BUSINESS

タイヤ事業

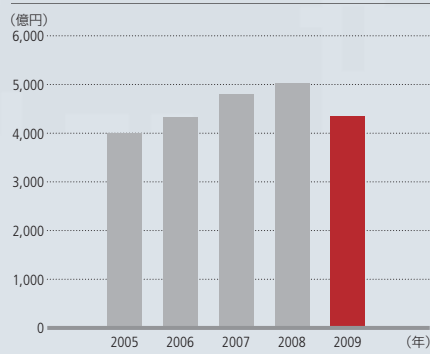


## 事業プロフィール

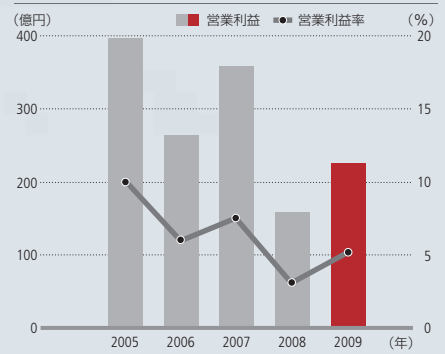
■ 住友ゴム工業(株)が、「ダンロップ」「ファルケン」「グッドイヤー」をメインブランドとするタイヤを製造・販売しています。

■ The Goodyear Tire & Rubber Company (以下、グッドイヤー社)とは1999年に世界的アライアンス契約を結んでおり、欧州・北米での製造・販売および日本での販売の合併会社を設立するとともに、タイヤ技術の交流、原材料・機械の共同購買を実施しています。

▶ 売上高



▶ 営業利益および営業利益率



## 2009年12月期の業績

当期のタイヤ事業の売上高は、前期比13.5%減の4,334億11百万円、営業利益は同42.1%増の225億18百万円となりました。

国内自動車生産が前期比3割減となり、新車用タイヤ販売が大きな影響を受けたことに加え、市販用タイヤ販売も国内・海外ともに需要が大幅に減少したことなどにより、売上高は前期を下回りました。営業利益につきましては、原材料価格の2008年半ば以降の下落が2009年の損益に寄与したことや緊急増益対策の効果などにより、国内での販売減と円高の進行による輸出採算の悪化をカバーして増益となりました。

### 国内市販用タイヤ

「ダンロップ」ブランドでは、社会的に環境問題への意識が高まるなか、当社従来品と比べて転がり抵抗を約20%削減し低燃費性を追求したミニバン専用タイヤ「ENASAVE RV503(エナセーブ アールブイゴーマルサン)」、乗用車用タイヤ「ENASAVE EC202(エナセーブ イーシー

ニーマルニ)」などの新商品を発売しました。

「グッドイヤー」ブランドでは、世界戦略商品のトップグレードに位置するフラッグシップタイヤ「EAGLE F1 ASYMMETRIC(イーグル エフワン アシメトリック)」や氷上性能のみならず、雪上や乾燥路での性能も大きく進化させたスタッドレスタイヤ「ICE NAVI ZEA II(アイス ナビ ゼア ツー)」を発売し、市場で高い評価を得ました。

しかしながら、特に上半期における個人消費の冷え込みなどの影響により、国内市販用タイヤの売上高は前期を下回りました。

### 新車用タイヤ

国内自動車生産台数は、世界同時不況により上半期は大幅に落ち込み、下半期には各国政府による減税政策等の効果により若干回復したものの、通期でも前期を下回りました。このようななか、当社グループの新車用タイヤ販売も、国内向け・輸出向けともに前期を下回りました。

### 海外市販用タイヤ

上半期は世界的な個人消費の落ち込みにより需要が大幅に減少しましたが、下半

期はアジア・中近東・中南米を中心に市況が徐々に回復し、また欧米での販売減を小幅に圧縮できたこともあって、通期では販売本数はほぼ前期並まで戻すことができました。しかしながら、円高の影響により売上高は前期を下回りました。

### 2010年12月期の見通し

タイヤ販売本数の増加を見込むものの、円高の進行、原材料価格の再高騰など厳しい事業環境が続くものと懸念されます。このようななか、生産面では、低操業度においても利益が上げられるよう生産効率の最大化や組織再編に取り組みます。販売面では、本格的に拡大する低燃費タイヤ市場に対して、当社グループの先進性・優位性を打ち出し、業界をリードするポジションを築いてまいります。海外市場においては、欧州における現地販売法人設立による営業網の拡充や北米におけるファルケンブランドの新商品投入など、積極的な増販に努めてまいります。

▶ タイヤ販売本数および前期比率

	2008	2009
国内新車	+0%	-33%
海外新車	+14%	-10%
国内市販	-2%	-6%
海外市販	+16%	-6%
合計	+7%	-12%
合計本数(万本)	8,734	7,649

**DUNLOP**  
ENASAVE EC202

**FALKEN**  
ZIE X ZE912

**GOOD YEAR**  
EAGLE F1 ASYMMETRIC



---

## タイヤテクニカルセンターが竣工

---

2009年10月に迎えた創業100周年を機に、次の100年に向けてさらなる成長を目指すために建設を進めていた「タイヤテクニカルセンター」が竣工しました。当センターは、住友ゴムグループのタイヤ技術・研究開発の核となる拠点として位置付けられており、最先端のタイヤ試験機や測定器を備えているほか、太陽光発電を導入するなど環境にも配慮した施設となっています。今後、このタイヤテクニカルセンターを中心に低燃費タイヤをはじめとする環境対応タイヤの開発を一層推進してまいります。



「タイヤ技術年史パネル」



「摩耗エネルギー測定装置」



「屋上に設置された太陽光パネル」



「「タイヤテクニカルセンター」の外観」

---

## 「製造研修センター 白河研修所」がオープン

---

100周年記念事業の一環として白河工場敷地内に建設を進めていた「製造研修センター 白河研修所」が完成し、2009年4月に開所しました。本施設は「技能とモノづくり哲学の伝承」と「グローバル展開への対応」を目的として設立されました。製造管理監督者や海外駐在要員の教育訓練、製造技術の標準化などの訓練を実際の製造設備を使用して行います。なお、本施設は太陽光発電の採用や屋上緑化、ビオトープの設置を行うなど自然環境にも配慮しています。



「タイヤ製造技術年史パネル」



「大研修室」



「屋上に設置された太陽光パネル」



「「製造研修センター 白河研修所」の外観とビオトープ」

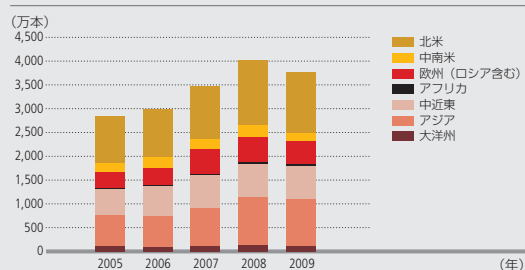
## 欧州にタイヤ販売会社を設立



ファルケンタイヤヨーロッパの外観

当社は、タイヤ事業におけるグローバル展開の一環として、このたび現地販売会社「ファルケンタイヤヨーロッパ (Falken Tyre Europe GmbH)」をドイツのオフエンバッハ市に設立し、2010年1月より営業を開始しました。市場ニーズを的確にとらえた商品投入および販売活動の展開により顧客満足度の向上を図り、欧州地域における「ファルケン」および「オーツ」ブランドの市販用タイヤの販売拡大を目指します。

## 海外市販用タイヤ売上本数の推移



## 欧州の展示会で「Environmental Achievement of the Year」を受賞

当社は、2009年2月にドイツのハンブルクで開催された「Tire Technology Expo 2009」において、『100%石油外天然資源タイヤを2013年までに市販する』という取り組みが評価され、「Environmental Achievement of the Year」を受賞しました。「Tire Technology Expo 2009」は、2001年より毎年欧州で開催されているタイヤ製造等に関する技術発表・展示会です。今回の受賞は、当社の環境負荷低減のための先進的な取り組みと高い技術力が認められた結果であると考えています。



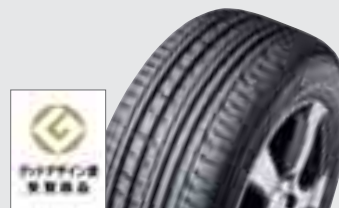
受賞トロフィー



授賞式の模様

## 「ENASAVE RV503」がグッドデザイン賞を受賞

ダンロップのミニバン専用低燃費タイヤ「ENASAVE RV503」(エナセーブ アールブイゴーマルサン)が、(財)日本産業デザイン振興会が主催する2009年グッドデザイン賞を受賞しました。グッドデザイン賞は、単に商品外観の美しさだけでなく、機能・品質・安全性はもちろん、総合的な質の高さを有していると判断されたものに与えられる賞です。ダンロップの乗用車用タイヤの同賞受賞は4年連続となりますが、これはダンロップのタイヤ設計技術の高さが認められた結果であると考えています。



「ENASAVE RV503」

## 低燃費タイヤ ダンロップ「ENASAVE EC202」を発売

当社従来品\*と比較して転がり抵抗を約20%低減し、低燃費性能を追求したダンロップ「ENASAVE EC202 (エナセーブ イーシーニーマルニ)」を2009年10月に発売しました。新たに開発したゴム材料を採用したことなどにより、多くのユーザーがタイヤに求める低燃費性能を、タイヤの基本性能を高いレベルで保持したまま実現しました。また、サイドウォールの二層化と新たなパターンデザインにより、優れた快適性と安全性を確保しました。

\* デジタイヤエコ EC201



ENASAVE EC202

ENASAVE EC202  
(軽自動車・コンパクトカー用)

# SPORTS BUSINESS

スポーツ事業



## 事業プロフィール

■ 2003年に住友ゴム工業(株)から分社化したSRIスポーツ(株)が、ゴルフ用品ではクラブやボールなどを、テニス用品ではラケットやボールなどを製造・販売しています。

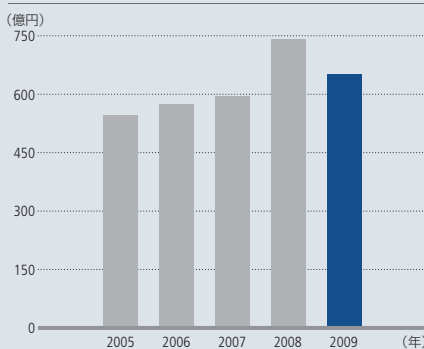
■ 主力のゴルフ用品では、ダンロップの「XXIO(ゼクシオ)」「SRIXON(スリクソン)」ブランドに加え、2007年12月に買収した米国クリーブランド社のブランド「Cleveland Golf(クリーブランドゴルフ)」も加わり、ラインアップがさらに充実しました。

■ SRIスポーツ(株)は、2006年に東京証券取引所市場第一部に上場しています。

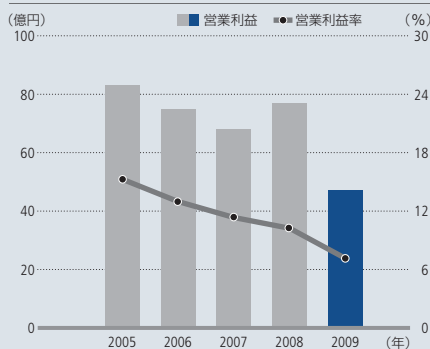
## XXIO(ゼクシオ)

ゴルフ用品の主力ブランド「XXIO(ゼクシオ)」。日本、韓国、中国などにおいて多くのゴルファーの皆さまにご愛用いただいています。

## 売上高



## 営業利益および営業利益率



## 2009年12月期の業績

当期のスポーツ事業の売上高は、前期比12.2%減の652億20百万円となりました。営業利益は同38.7%減の47億35百万円となりました。

## ゴルフ

国内外ともにゴルフ場入場者数がほぼ横ばいで推移するなか、年初からの消費低迷が店頭販売を直撃し、ゴルフクラブを中心に市況はかつてない厳しい状況となりました。

このようななか、日本国内では、ゴルフクラブで主力の「The XXIO(ザ・ゼクシオ=5代目ゼクシオ)」が圧倒的な人気を継続したほか、12月中旬には6代目となる「新・ゼクシオ」を市場に投入し、「SRIXON」ブランドでも商品ラインアップを拡充するなど積極的な販売活動を展開しました。

海外市場においては、「Cleveland Golf」ブランドのゴルフクラブ新商品を順次投入したほか、クリーブランド社との統合効果を活かし、プロモーション活動の強化や販売経路の活用を行うことで、欧米における

「SRIXON」ゴルフボールの販売シェアを順調に拡大することができました。

しかしながら、ゴルフ用品全体では世界的な景気の低迷が大きく影響し、売上高は前期を下回りました。

## テニス

テニス用品では、硬式テニスラケット「SRIXON X(スリクソン エックス)」シリーズを新たに投入するなど、ボール・ウェアに続き、ラケットにおいても「SRIXON」ブランドのラインアップを整えました。しかしながら、市況の低迷に加えて秋以降の新型インフルエンザの流行にともなう学校の休校などにより、テニス用品全般の店頭販売が伸び悩んだことも影響し、テニス用品全体の売上高は前期を若干下回りました。

## 2010年12月期の見通し

引き続き景気低迷が予測されるなか、クリーブランド社との協業に力を注ぐことで、国内外でゴルフクラブ、ボールのシェアアップに取り組んでまいります。



SRIXON  
(スリクソン)

プロ・上級者向けとして生まれた「SRIXON(スリクソン)」ブランドのゴルフ用品は、国内外の有カプレーヤーに使用されています。



Cleveland Golf  
(クリーブランドゴルフ)

1979年に米国で誕生した「クリーブランドゴルフ」。定評あるウェッジは米国市場で高いシェアを有しています。



SRIXONブランドの  
テニスラケット



国内トップシェア\*を誇る  
硬式テニスボール

\*矢野経済研究所調べ

## 売上高内訳

(億円)

	2008	2009	前期比
クラブ	390	315	-19%
ボール	121	123	+1%
シューズ・アクセサリ他	104	91	-12%
ゴルフ用品	615	529	-14%
テニス用品	70	67	-4%
ライセンス収入	4	4	-14%
スポーツ用品	689	600	-13%
その他	54	52	-3%
合計	743	652	-12%

## SRIスポーツ(株)が中国および香港にゴルフ用品販売子会社を設立

SRIスポーツ(株)は、ゴルフ用品市場が拡大してきている中国での営業、マーケティング活動を強化し拡販を図るために、江蘇省常熟市と香港に同社100%出資の販売子会社を設立し、2010年3月より営業を開始しました。今後、中国市場において、きめ細やかな営業活動を行うとともに、ブランド認知をさらに高めるためのプロモーション活動を強化することで、ゴルフクラブ、ゴルフボールを中心にシェアを高めてまいります。

# INDUSTRIAL AND OTHER PRODUCTS BUSINESS

産業品その他事業



ミクロン単位の精度が要求される  
プリンター・コピー機用精密ゴム部品

## 事業プロフィール

■ プリンター・コピー機用精密ゴム部品、制振ダンパー、スポーツ用人工芝、建築フロア、ゴム手袋、車椅子用段差解消スロープ、ガス用ゴムホース、印刷用ブランケット、土木・海洋商品、医療用精密ゴム部品、工業用品など生活から産業に関わる商材まで多様な商品を提供しています。



徹底した品質管理で生産される医療用ゴム栓



### GRAST (グラスト)

高減衰ゴムを利用した制振技術「GRAST(グラスト)」は、戸建住宅から超高層ビルなどの建築物用の制振材まで、幅広い分野で活用されています。

## 2009年12月期の業績

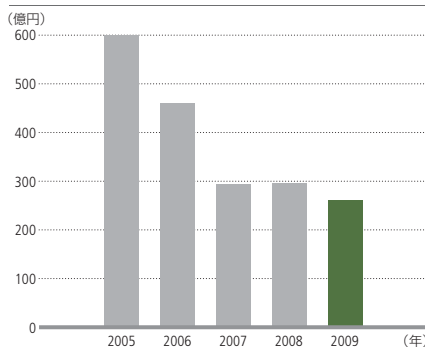
当期の産業品その他事業の売上高は、前期比12.6%減の259億4百万円、営業利益は同21.7%減の14億19百万円となりました。

新たに住宅メーカーと共同開発した制振ダンパーが当該メーカーのシリーズ標準として採用されたほか、国内外で拡販が期待できる医療用ゴム栓は、高品質を武器に新規納入先の開拓を進めるなど成長分野において積極的に事業を展開しました。しかしながら、主力のプリンター・コピー機用精密ゴム部品や建築資材は、個人消費や企業の設備投資の落ち込みにより、低調に推移しました。

## 2010年12月期の見通し

事業環境の急速な改善は期待できませんが、プリンター・コピー機用精密ゴム部品につきましては一部に回復の兆しが見られることから、積極的な営業活動を通じて増販に取り組んでまいります。2010年3月に第2工場が竣工した医療用ゴム栓分野では、安全で高品質な製品の供給に努め、一層の拡販を目指します。また、超高減衰テクノロジー「GRAST(グラスト)」の制振ダンパーにつきましては、戸建て住宅とともにビル分野での耐震補強事業にも注力してまいります。

### 売上高



### 営業利益および営業利益率

